

2022年度「平常時の広報活動」に係る活動の取り組み事例について

リサイクル燃料備蓄センター原子力事業者防災業務計画第2章第9節に定める「備蓄センター周辺の方々を対象とした平常時の広報活動」として、広報媒体や訪問説明、視察受入れ等を通して、広報活動を実施した。具体的な活動実績は添付資料の通り。

添付資料

(1) リサイクル燃料備蓄センター 2022年度広報活動対応実績

参考資料

(1) 広報紙REN95～97号

リサイクル燃料備蓄センター 2022 年度広報活動対応実績

1. 放射性物質及び放射線の特性

視察資料や広報紙等を用いて、金属キャスクの基本的安全機能（「放射性物質の閉じ込め」、「燃料から発生する熱の除去」、「燃料の臨界防止」、「燃料から発生する放射線の遮蔽」）や放射線の基礎知識等について、以下の理解活動を行った。

(1) 住民への説明

モニター会議 3回 延16人

(第1回6名(視察資料)、第2回5名(REN95号)、第5回5名(REN96号))

(2) 訪問活動

北通り10地区町内会への訪問活動 2回 延18人

(8/8 8名(REN95号)、1/13 10名(REN96号))

(3) 見学・視察(むつ市)

13団体 142人

(4) 広報紙RENの配布

むつ市、下北郡内、横浜町を対象に新聞折り込みで発行。

- ・広報紙REN95号(金属キャスクの基本的安全機能に関する記事を掲載)
- ・広報紙REN96号(金属キャスクの表面温度に関する記事を掲載)

(5) ホームページ公開

2回(広報紙REN95号及び96号)

2. 原子力事業所の概要

視察資料や広報紙等を用いて、新規規制基準への適合性審査の状況、安全対策工事や事業の近況、リサイクル燃料備蓄センターの概要等について、以下の理解活動を行った。

(1) 住民への説明

モニター会議 3回 延16人

(第1回6名(視察資料)、第2回5名(REN95号)、第5回5名(REN96及び97号))

(2) 訪問活動

北通り10地区町内会への訪問活動 6回 延50人

(4/8 7名(新型コロナ感染状況)、4/12 9名(新型コロナ感染状況)、8/8 8名(REN95号)、1/13 10名(REN96号)、2/28 16名(保安規定変更認可審査状況))

(3) 見学・視察(むつ市)

13団体 142人

(4) 報道機関への情報提供・説明

41回(「役員人事」(2回)、「リサイクル燃料備蓄センターの設計及び工事の計画の変更認可(2回目)について」、「リサイクル燃料備蓄センター事業変

更許可申請書の一部補正について」(3回)、「リサイクル燃料備蓄センター保安規定変更認可申請について」、「リサイクル燃料備蓄センターの貯蔵計画の届出について」、「リサイクル燃料備蓄センターの事業変更許可について」、「リサイクル燃料備蓄センターの設計及び工事の計画の変更認可申請について」、「原子力事業者防災業務計画の修正の届出」、「新型コロナウイルス感染症への感染について」(28回)、「青森県原子力安全対策検証委員会報告を受けた県の確認・要請に対する対応状況の報告について」、「使用済燃料貯蔵建屋の火災報知器の発報(誤報)について」)

(5) むつ市政記者会への現場公開及び意見交換会の開催(10/25)

むつ市政記者会に所属する記者向けに、弊社の事業概要、審査状況及び安全対策工事の進捗状況の説明、貯蔵建屋内の現場公開並びに役員との意見交換を実施した。

(6) 広報紙 REN の配布

むつ市、下北郡内、横浜町を対象に新聞折り込みで発行。

- ・広報紙 REN 95 号(新入社員入社等に関する記事を掲載)
- ・広報紙 REN 96 号(安全対策工事等に関する記事を掲載)
- ・広報紙 REN 97 号(保安規定変更認可申請等に関する記事を掲載)

(7) ホームページ公開

62 回(プレス文、News(プレスリリース以外のもの)、広報紙、イベント、不適合情報、火山モニタリング、環境保全の取り組み)

3. 原子力災害とその特殊性

視察者からの質問や報道機関への情報提供、広報紙等を通じて以下の理解活動を行った。

(1) 住民への説明

モニター会議 3回 延16人

(第1回6名(視察資料)、第2回5名(REN95号)、第5回5名(REN96及び97号))

(2) 訪問活動

北通り10地区町内会への訪問活動 1回 10延人

(1/13 10名(REN96号))

(3) 見学・視察(むつ市)

13団体 142人

(4) 報道機関への情報提供・説明

7回(「リサイクル燃料貯蔵センターの設計及び工事の計画の変更認可(2回目)について」、「リサイクル燃料貯蔵センター事業変更許可申請書の一部補正について」(3回)、「リサイクル燃料備蓄センターの事業変更許可について」、「リサイクル燃料備蓄センターの設計及び工事の計画の変更認可申請について」、「原子力事業者防災業務計画の修正の届出」)

(5) 広報紙 REN の配布

むつ市、下北郡内、横浜町を対象に新聞折り込みで発行。

・広報紙 REN 96 号（安全対策工事に関する記事を掲載）

・広報紙 REN 97 号（防災訓練に関する記事を掲載）

(6) ホームページ公開

10 回（「リサイクル燃料貯蔵センターの設計及び工事の計画の変更認可（2 回目）
について」、「リサイクル燃料貯蔵センター事業変更許可申請書の一部補
正について」（3 回）、「リサイクル燃料備蓄センターの事業変更許可に
ついて」、「リサイクル燃料備蓄センターの設計及び工事の計画の変更
認可申請について」、「原子力事業者防災業務計画の修正の届出」、「青
森県原子力安全対策検証委員会報告を受けた県の確認・要請に対する対
応状況の報告について」、広報紙（REN96 号及び 97 号）

(7) 問い合わせ対応

一般の方から安全対策工事の期間について電話による質問をいただき、工事の内
容と共に回答した。

4. 原子力災害発生時における防災対策の内容

視察資料や広報紙、プレス発表等を通じて、安全対策工事の概要、RFS の社内各種訓練
の取り組みや青森県主催訓練等への参加、原子力事業者防災業務計画の修正の届出等
について、以下の理解活動を行った。

(1) 住民への説明

モニター会議 2 回 延 11 人

(第 1 回 6 名（視察資料）、第 5 回 5 名（REN96 及び 97 号）)

(2) 訪問活動

北通り 10 地区町内会への訪問活動 1 回 10 延人

(1/13 10 名 (REN96 号))

(3) 見学・視察（むつ市）

13 団体 142 人

(4) 報道機関への情報提供・説明

7 回（「リサイクル燃料貯蔵センターの設計及び工事の計画の変更認可（2 回目）
について」、「リサイクル燃料貯蔵センター事業変更許可申請書の一部補正
について」（3 回）、「リサイクル燃料備蓄センターの事業変更許可につ
いて」、「リサイクル燃料備蓄センターの設計及び工事の計画の変更認
可申請について」、「原子力事業者防災業務計画の修正の届出」)

(5) 広報紙 REN の配布

むつ市、下北郡内、横浜町を対象に新聞折り込みで発行。

・広報紙 REN 96 号（安全対策工事に関する記事を掲載）

・広報紙 REN 97 号（防災訓練に関する記事を掲載）

(6) ホームページ公開

10 回（「リサイクル燃料貯蔵センターの設計及び工事の計画の変更認可（2 回目）
について」、「リサイクル燃料貯蔵センター事業変更許可申請書の一部補

正について」(3回)、「リサイクル燃料備蓄センターの事業変更許可について」、「リサイクル燃料備蓄センターの設計及び工事の計画の変更認可申請について」、「原子力事業者防災業務計画の修正の届出」、「青森県原子力安全対策検証委員会報告を受けた県の確認・要請に対する対応状況の報告について」、広報紙 (REN96 号及び 97 号))

5. 施設の状況に応じた緊急事態の区分の考え方

視察資料や広報紙等を用いて、原子力災害対策重点区域や緊急時活動レベル (EAL) の設定について、以下の理解活動を行った。

(1) 住民への説明

モニター会議 2回 延 11人

(第1回6名(視察資料)、第5回5名(REN97号))

(2) 見学・視察(むつ市)

13団体 142人

(3) 広報紙 REN の配布

むつ市、下北郡内、横浜町を対象に新聞折り込みで発行。

・広報紙 REN 97 号(原子力災害対策重点区域に関する記事を掲載)

(4) ホームページ公開

1回(広報紙 REN97号)

6. その他

昨年度の広報活動実績報告時に頂いたコメントについて、現在取り組んでいるものを含め、以下の対応を行った。

(1) 貯蔵施設における原子力災害の概要を情報提供すること。

→現在、地域交流部立地・広報グループにてトラブル事例集の作成を進めている。本事例集は、貯蔵施設で起こり得るトラブルとして原子力災害を含んでおり、将来的には弊社ホームページに掲載し、幅広く周知を行う予定である。

また、RFSの原子力災害対策重点区域の考え方を掲載した広報紙 REN をむつ市及び周辺地域の人々に配布し、RFSの原子力災害時の対応についての理解活動を行った。

(2) 情報提供は対象者の年代も踏まえて戦略的にすすめること。

→昨年度は、むつ市内の工業高校生や電力会社のインターンシップなど 109名の学生の視察を受け入れ、若年層への理解活動も積極的に展開した。次年度もこの取り組みは継続していく。

以 上

FRESHERS 2022

このたび、4年ぶりに地元の高校から4名が新たな仲間に加わりました！



一日も早く仕事を覚え、力になれるよう努力します！
運上 慎之助

1日でも早く戦力として役に立てるように、毎日全力で仕事に取り組みます！
木嶋 花瀬

少しでも役に立てるよう頑張っていくのでよろしくお願い致します！
北上 彩菜

一日も早く仕事を覚えられるように頑張ります！
山本 あかり

2022.4撮影



下北ジオパーク探検記! 第10弾

(川内エリア編)



下北ジオパークHPはこちらのQRコード



フェイスブックはこちらのQRコード



インスタグラムはこちらのQRコード



「むつ市海と森ふれあい体験館」へぶらっと立ち寄りました!

むつ市海と森ふれあい体験館「Shell Hall」
〒039-5201 青森県むつ市川内町川内477
電話番号 0175-42-2411
営業時間 通年 9:00~17:00
HP <http://www.mutsu-taikanken.jp/>
施設定休日 毎週月曜・年末年始 Facebook



川内(かわうち)は森から海までつながる自然の営みを体感できるエリアです。川内川の流域では水の流が作り出した地形や、滝を上るヤマメなどを見ることができます。海では、川を通して運ばれてきた森の栄養によって育まれたホタテなどの海産物が漁獲されます。また、この地域ではかつて公害による自然環境への被害が発生した歴史があり、環境保全の大切さを学ぶことができる場所でもあります。

小池拓矢さん=海と森が近い川内町は、カヤックやサイクリング、遊歩道の散策などアウトドアのアクティビティをするのうってつけの地域です。体験館でも様々なイベントを行っておりますので、いつでもお立ち寄りください!

山田菜生子さん=今年4月から体験館で働いている山田です。体験館では、海ゴミアートの作成・展示など、自然に触れながら学べるイベントを行っています。ぜひFacebookからご覧ください!

山や森の緑がみずみずしく感じられます。木々の葉が緑色に色づく中で、大滝をはじめとして川内の自然を満喫できたとともに、安部城跡山跡など川内の歴史にも触れられ、大満足でした。皆さんも週末に散策してみたいはいかがでしょうか。

体験館では、小池拓矢さん(32)=神奈川県逗子市出身=と山田菜生子さん(20)=愛知県長久手市出身=の2人がむつ市地域おこし協力隊員として活動しています。2人は川内町を拠点に、子どもを対象とした体験イベントなどの企画・運営に携わっています。

リサイクル燃料備蓄センターはどんな施設なの？

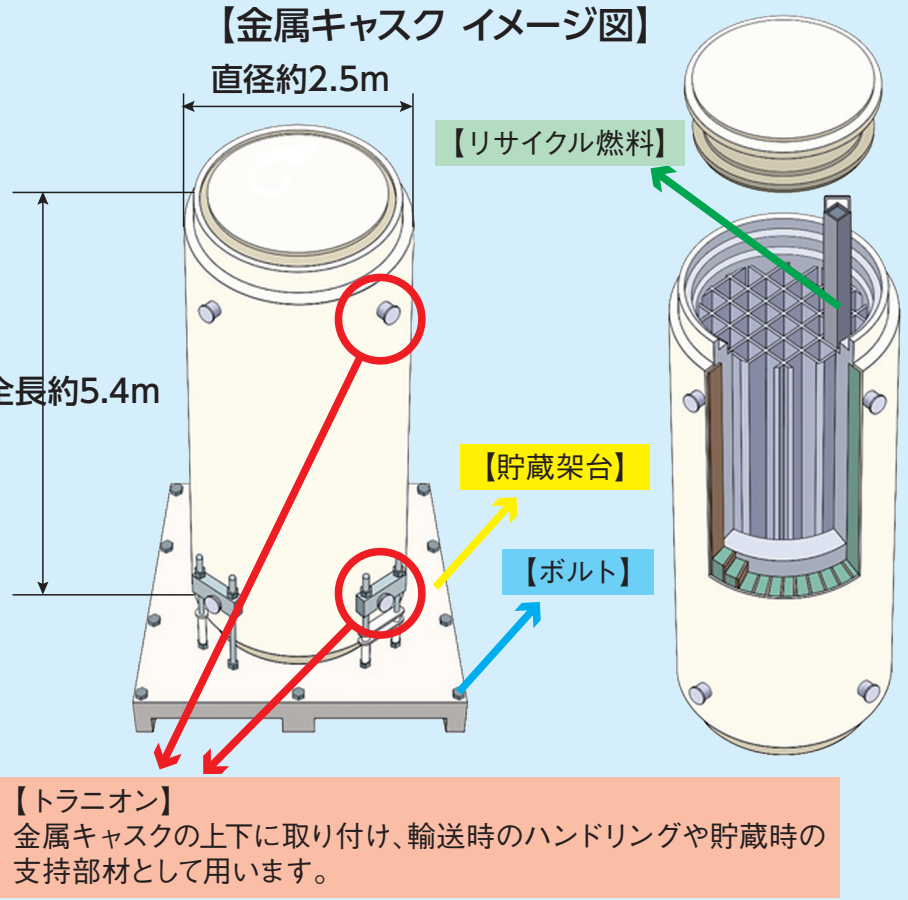
リサイクル燃料備蓄センターでは、原子力発電所で使い終わった燃料(リサイクル燃料)を再処理されるまでの間、鋼鉄製の頑丈な容器(金属キャスク)に入れて安全に貯蔵、管理します。

金属キャスクの概要

○金属キャスクは、リサイクル燃料を収納する容器です。リサイクル燃料の種類(原子力発電所で、どの程度発電したのか、どのくらいの期間に亘って冷却したのかなど)に応じた設計を採用します。

金属キャスクの諸元(一例)	
・全長	:約5.4m
・直径(外径)	:約2.5m
・総重量	:約120t (燃料集合体含む)
・燃料収納体数	:69体
・照射前ウラン重量	:約10t

- 金属キャスクに使用する材料は、丈夫で経年変化が少ない等、温度や放射線による劣化が起こりにくいものを採用しています。
- 貯蔵時に金属キャスクが倒れることのないよう、トランニオンで貯蔵架台へ固定し、貯蔵架台を10本のボルトで貯蔵建屋の床に固定します。



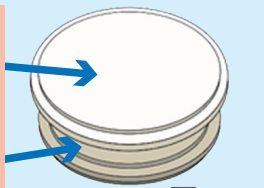
金属キャスクは、4つの基本的安全機能である、①～④を行う設計としており、また、電源を必要としません。

この4つの安全機能により貯蔵期間を通じて安全性を確保してまいります。

- | | |
|------------|----------|
| ① 【閉じ込め機能】 | ② 【除熱機能】 |
| ③ 【臨界防止機能】 | ④ 【遮蔽機能】 |

【基本的安全機能】

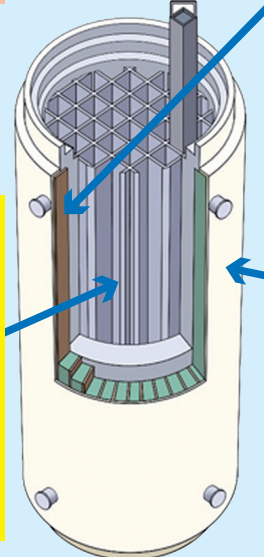
①【閉じ込め機能】
金属キャスクは、二重の蓋で密封して放射性物質を閉じ込めます。



②【除熱機能】
リサイクル燃料から発生する熱は、熱伝導の優れた伝熱フィンなどにより、金属キャスクの表面に伝えられます。

④【遮蔽機能】
リサイクル燃料から発生する放射線は、金属キャスクの胴部にガンマ線を低減させる鉄などの物質や、合成樹脂などの水素原子を多く含む中性子遮蔽材を取り付けることで、金属キャスク本体で放射線を遮蔽します。

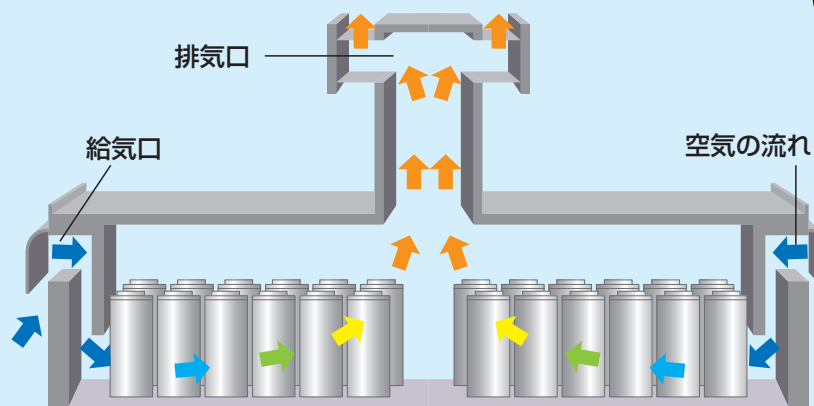
③【臨界防止機能】
中性子吸収材(ボロン)を混ぜたバスケットと呼ばれる仕切り板で、リサイクル燃料を一定の間隔となるよう区画することにより、臨界を防止します。



【貯蔵建屋の特徴】

金属キャスクの除熱は、自然対流による空冷のため、貯蔵建屋は動力(冷却設備)等は不要です。

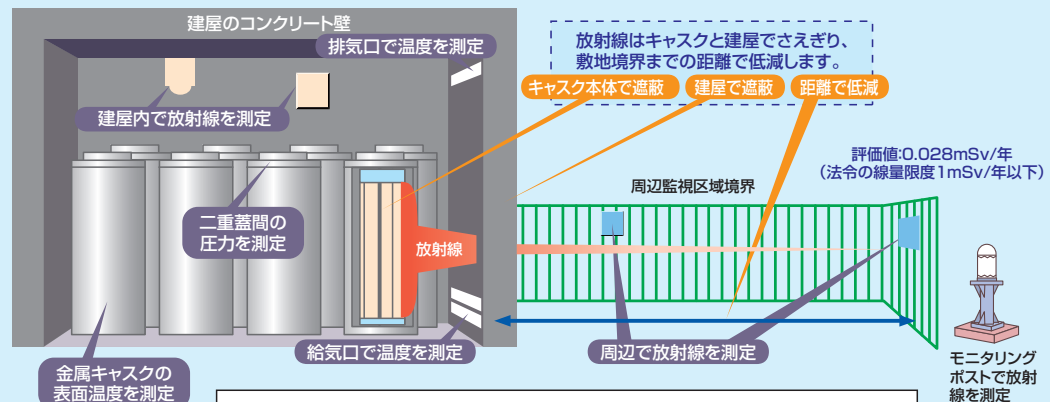
貯蔵期間を通じ、リサイクル燃料から生じる熱は、金属キャスク表面に伝わり、金属キャスク周囲の空気に伝えられます。暖められた金属キャスク周囲の空気は、自然対流により排気口から外に移動します。



水や電気がなくても、自然の空気だけで冷やすことができるんだね!



【貯蔵建屋の遮蔽機能と放射線の監視】



貯蔵建屋のコンクリートで放射線を遮蔽します。

金属キャスクは、コンクリート造の貯蔵建屋内に保管し、外部への放射線を低減するように設計しています。

主な安全対策工事について

事業開始に向けた安全対策工事を進めております

【高台予備緊急時対策所設置工事】

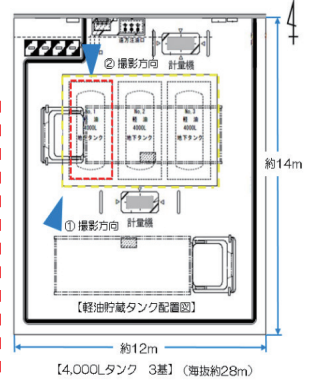
津波対策として、必要な機材保管等のために高台に事務所、倉庫等を新設する工事です。



【建設地(海拔約30m)】

【軽油貯蔵タンク(地下式)設置工事】

電源車(外部電源喪失時等に使用)に供給する燃料を蓄える軽油貯蔵タンクを設置する工事です。津波対策として、高台に設置します。

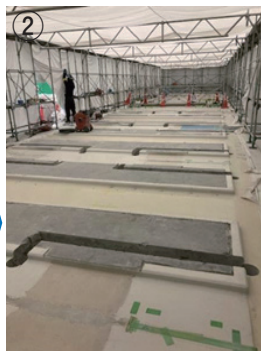


【たて起こし架台ほか津波対策工事】

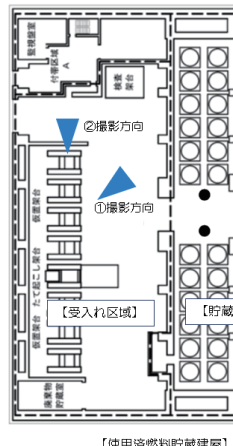
津波対策として、受入れ区域の金属キャスク架台が漂流しないよう補強します。



架台取り外し前

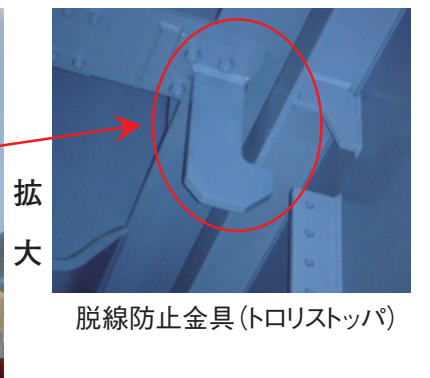
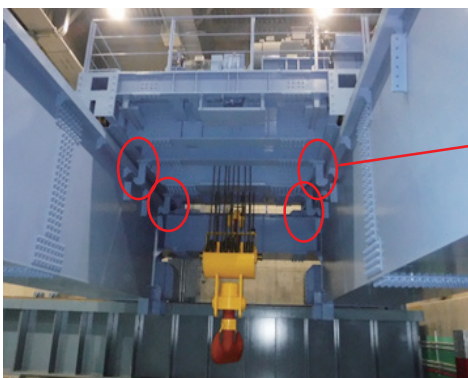


架台取り外し後



【受入れ区域天井クレーン耐震補強工事】

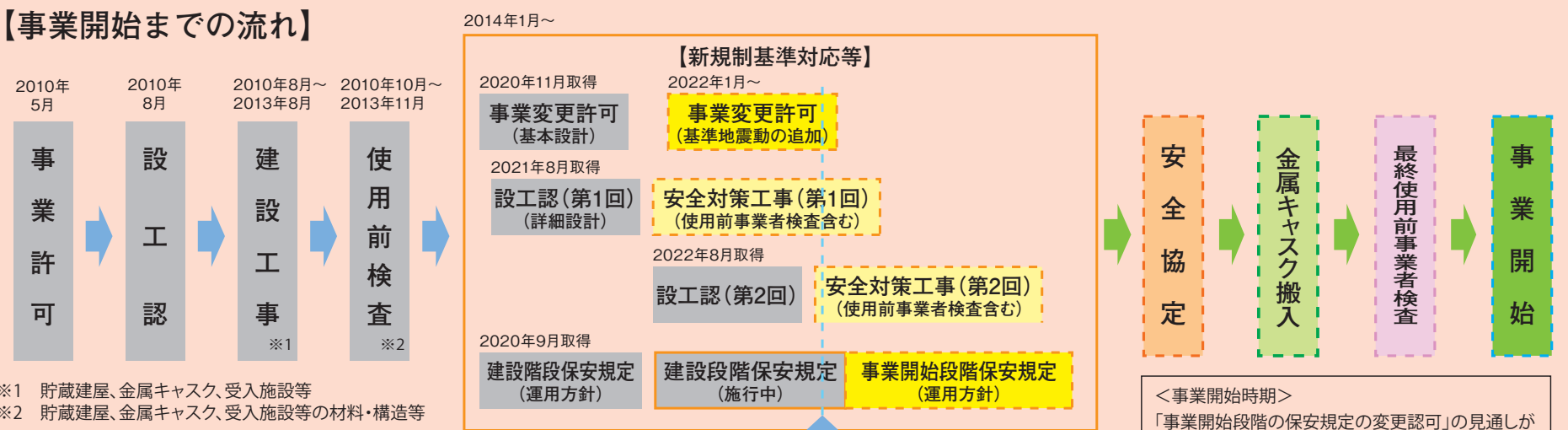
地震対策として、受入れ区域の天井クレーンが金属キャスクに落下しないよう補強します。



リサイクル燃料備蓄センターの設備や工事に関わる認可後の取組みについて

当社は、リサイクル燃料備蓄センターの設計及び工事の計画の変更認可(設工認)に関し、8月16日付で原子力規制委員会から認可を受けました。2回に分けて申請した設工認審査が全て終了いたしました。安全対策工事の本格実施と併せ、放射線管理、貯蔵管理、設備の運用方法などを定めた保安規定の変更認可など残りの手続きを進めて参ります。

【事業開始までの流れ】



※1 貯蔵建屋、金属キャスク、受入施設等
※2 貯蔵建屋、金属キャスク、受入施設等の材料・構造等

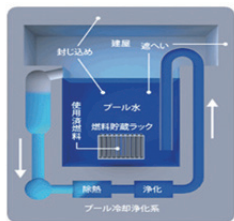
	申請	認可	対象設備
第1回	2021年2月26日	2021年8月20日	電源車に燃料を供給する軽油貯蔵タンク(地下式)など
第2回	2021年11月12日	2022年8月16日	使用済燃料貯蔵建屋、燃料を収納する金属キャスク、燃料受入れ区域に設置している天井クレーン、金属キャスクを搬送する台車など

現在

【リサイクル燃料(使用済燃料)の貯蔵】

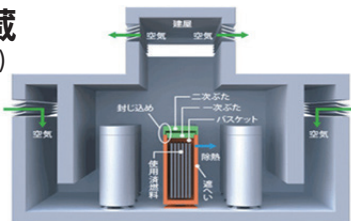
- 原子力発電所で使い終わった使用済燃料は、燃料の中にある放射性物質が、放射線を出しながら安定した物質(放射線を出さない物質)に変わっていきますが、この変化の際には、熱を放出します。
- 使用済燃料を安全に貯蔵するために、自然換気方式で熱を除去し、放射線の遮蔽を行うと共に、臨界にならない金属キャスクで貯蔵します。
- 貯蔵方式は湿式貯蔵と乾式貯蔵の2種類があり、どちらも安全に貯蔵することができます。当社は乾式貯蔵を行います。

湿式貯蔵 (使用済燃料プール)



湿式貯蔵では、使用済燃料プールで貯蔵します。原子力発電所で使い終わってすぐの使用済燃料は、発熱量と放射線量が高いため、水を循環させて除熱し、水とコンクリートで放射線の遮蔽を行います。湿式貯蔵は除熱性能に優れ、大容量の貯蔵に適していますが、水を冷却するためのポンプやその電源が必要です。

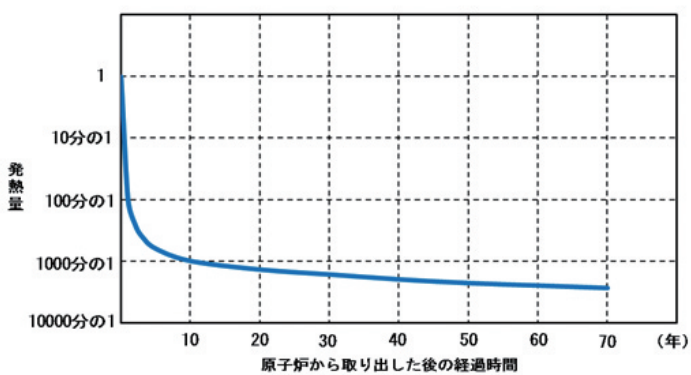
乾式貯蔵 (金属キャスク)



乾式貯蔵では、使用済燃料プールで一定期間冷却されたものを、金属キャスクに入れて貯蔵します。除熱や放射線の遮蔽、臨界防止や放射性物質の閉じ込めを金属キャスクで行います。金属キャスクは、必要な期間に比較的容易に製造することができます。また、自然換気方式で冷却するため、水やポンプ、電源は必要ありません。

【出典】電気事業連合会「使用済燃料貯蔵対策の取り組み」

使用済燃料の発熱量の時間変化



【出典】電力中央研究所 「使用済核燃料貯蔵の基礎」より

貯蔵建屋内の温度は外気温プラス10℃くらいになるんだって!



使用済燃料の貯蔵期間が経過していくと、発生する放射線や熱は、次第に減少していきます。

発電所のプールで10年以上冷却されてから、金属キャスクに収納され、当施設へ運ばれてきます。

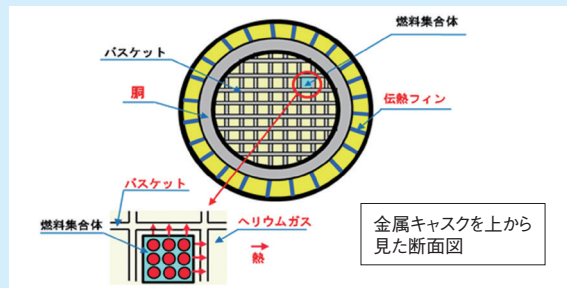
【除熱機能】

水や電気がなくても、自然の空気だけで冷やすことができるんだね!



○金属キャスクの除熱機能

金属キャスクの使用済燃料を収納している内部には、熱伝達率のよいヘリウムガスを充填しています。また、熱を伝えやすい金属(銅)性の伝熱フィンで、使用済燃料の熱を金属キャスク表面に伝導させています。金属キャスクの表面温度は、貯蔵期間が経過していくと次第に低くなっていきます。

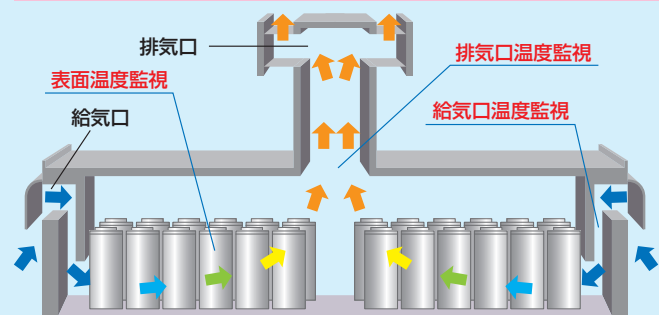


○貯蔵建屋の除熱機能

貯蔵期間を通じ、使用済燃料から生じる熱は、金属キャスク表面に伝わり、金属キャスク周囲の空気に伝えられます。

暖められた金属キャスク周囲の空気は、空気の自然対流により排気口から外に移動します。

自然対流による空冷のため、電源を必要とする冷却設備は不要です。



施設の除熱機能が確保されていることを確認するため、金属キャスクの「表面温度」、貯蔵建屋の「給気口温度」、「排気口温度」を24時間常に監視し、異常があれば警報を発するように設計しています。

EVENT

いろいろなイベントに協賛、参加しています。



イベントについては
こちらQRコード

むつ市のイベントに参加しております



第18回RFS杯ママさんバレーボール大会

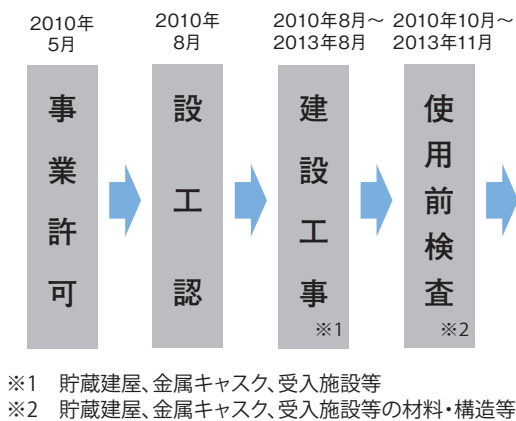
今年も、下北地域のチームが集まり、当社主催のママさんバレーボール大会を開催しました。積み重ねた練習の成果を発揮し、熱戦が繰り広げられました。



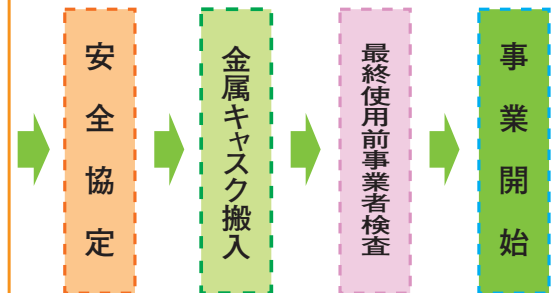
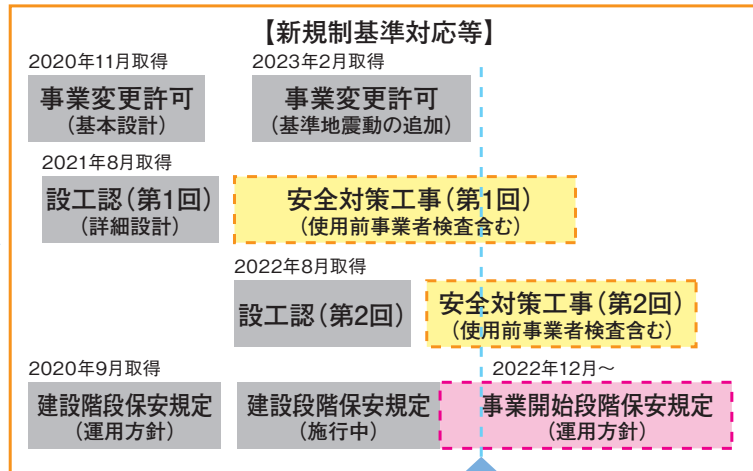
参加チーム：むつクラブ、大平クラブ、リミテッド、TEAM RFS

事業開始段階保安規定について

【事業開始までの流れ】



2014年1月～



<事業開始時期>
「事業開始段階の保安規定の変更認可」の見通しが得られた段階で、具体的な目標時期を見極める。

現在

保安規定とは？・・・施設を安全に運用するためのルールを定めたもので、昨年12月に申請し、現在、審査中です。

2020年4月の新検査制度導入に関する原子炉等規制法及び関連規則の改正後は、建設段階(2020年9月16日認可)と、事業開始段階の二段階で保安規定を定めることになりました。

2022年12月21日に事業開始段階の保安規定変更認可を申請し、現在、審査中です。今回の申請においては、「事業許可」、「設計及び工事の計画の認可(設工認)」で確認された使用済燃料貯蔵施設の安全性を、貯蔵期間中に亘って継続して確保するために必要な事項を定めます。

【今回申請(追加)した主な事項】

- ・貯蔵管理(施設の巡視点検、火災発生時や津波等の自然災害発生時の体制の整備、異常時の措置など)
- ・放射線管理(管理区域の設定、放射線の測定や線量管理など)
- ・緊急時措置(原子力防災組織や資機材、態勢の発令、原子力防災訓練など)

すでに第一線で活躍を始めた新入社員!その仕事ぶりを紹介します。

新入社員のコメント

- ①どのような仕事を行っているのか?
 - ②入社前後で会社に対する印象は変わったか?
 - ③1年を振り返り今後の抱負
- 先輩社員からのメッセージ**
- ①成長したところ
 - ②今後期待するところ、頑張ってもらいたい点

新入社員:運上さんのコメント

- ①資機材の管理、予算の策定を行っています。他には週に一回現場を巡回し、装置等の異常の有無を点検しています。
- ②仕事のイメージから難解であり、戦力となれるか不安がありました。しかし、実際には想像と違い、落ち着いた雰囲気、上司の方々は親しみやすく、働きがいのある会社だと感じました。
- ③仕事の途中で、疑問点を放置せず聞く勇気を持ち、知識向上のため、個人で調べる習慣づけが大事だと思いました。更に、2年目として新入社員の手本となるよう、スキルアップを図りたいと思います。

先輩社員:山本さんからのメッセージ

- ①入社当時と比べると、いろいろなことを積極的に聞くようになってきています。
- ②設備を覚えるため、機会を見つけ現場へ行くように伝えており、最近現場へ行く機会が増えたと感じます。積極的に現場へ行き、コミュニケーション能力を身につけて、設備を覚えてもらいたいです。(来年度からは工事監理も行うため)

保安グループ



総務グループ



新入社員:木嶋さんのコメント

- ①「出張等旅費審査」「勤務表管理・審査(休暇取得)」「給与支給処理」「消防設備等の自主点検」等
- ②堅いイメージがありましたが、職場は明るい雰囲気でも相談することができる環境で安心しました。
- ③意見を積極的に発信することを遠慮していましたが、今後、与えられた業務に対して意欲的に取り組み、自身の見識も加えて情報を発信できるようにしたいと思います。「報連相」を怠らないために、伝えるべき内容・タイミングをおさえ、密にコミュニケーションを図ってきたいと思います。

先輩社員:北田さんからのメッセージ

- ①当初不安そうだった電話対応が、今ではスムーズにできるようになり成長を感じています。期限を切った業務依頼に粘り強く交渉を行い、業務を完璧させるところに感心しました。
- ②業務改善はフレッシュな視点で行うことがとても重要だと思います。業務を依頼されることも増えてきましたが、固定観念に捉われず自らの意見を発信し、わからないことは遠慮なく聞いて、焦らず一緒に取り組みましょう。

新入社員:北上さんのコメント

- ①「電気設備の点検」「設備を設置するための書類作成」等
- ②すぐに事業開始ができると考えていましたが、国の厳しい審査をクリアしなくてはならないことを知り、大変であると実感しました。
- ③今年、知識を身につけるために勉強した1年でした。今後もたくさんの知識を身につけられるよう勉強を継続しながら、工事監理員としてひとり立ちし、会社の役に立てよう頑張っていきたいです。

先輩社員:乳井さんからのメッセージ

- ①資料作成に伴い、必要な情報を取捨選択し、段取りを決めて計画的に進めることができます。
- ②保全グループは現場第一線で業務を展開しているため、機械、設備と図面を照合し、運用までの工程をしっかりと説明できよう、期待しています。

保全グループ



経理グループ



新入社員:山本さんのコメント

- ①「出納業務」「金融機関対応」等
- ②地域との交流をととても大切にする会社だと改めて感じました。
- ③1年間恵まれた環境で仕事ができ、働くことの楽しさを感じることができました。2年目はコツコツと経験を積み、何事にも冷静に、真剣に取り組みたいです。

先輩社員:山路さんからのメッセージ

- ①一つ一つの仕事を着実に進めています。
- ②主体性・積極性を持って取り組んでほしいです。



Q.原子力防災訓練はどのくらいのペースでやっているの？

A. 原子力防災訓練は2か月に1回程度、消防訓練は年1回実施。災害に関する防災体制の確立と防災技術の向上を図るとともに、防災意識の高揚に資することを目的として全社員一丸となって取り組んでいます。

【防災訓練の様子】



【消防訓練の様子】



毎回違うシナリオに沿って訓練が行われるんだね!

いんなみ
【印南防災安全グループマネージャー】



リサイクル燃料備蓄センター(使用済燃料中間貯蔵施設)は、重大な原子力災害が想定される施設ではない(放射性物質漏えいの可能性は極めて小さい)とされていますが、原子力防災業務計画に基づき、自然災害等を想定した訓練を実施しています。

緊張感をもって取り組むことが大切なんだね!



QRコードを使って当社広報紙(REN)等へのアンケートをお願いします。

応募締め切り3月31日

アンケートにお答えいただいた方より抽選で10名さまに、数ある下北ジオパーク認定商品の中から「みなみや こんぶや店」の「下北ジオ昆布三昧」をプレゼントします。
当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。



むつ市
下北ジオ昆布三味
みなみやこんぶや店



認定商品には、ブランドを示す専用のロゴマークが使用されています。下北ジオパークだからこそ生まれた商品をぜひ一度お試しください。

津軽海峡の恵みが育てたマコブ
津軽海峡には豊富な栄養塩を含む親潮が流れ込んでおり、マコブが生育するには持ってこいの海域。そんな好環境で育った下北産マコブを使用して製造した、出し昆布、おぼろ昆布、とろろ昆布の詰め合わせです。

イベント情報

菜の花フェスティバルinよこはま 開催決定!

本イベントにつきまして、2023年5月20日(土)・21日(日)に開催されることが決定しました!

イベント内容は、菜の花大迷路をはじめ、菜の花マラソン大会やステージショー等も予定されています。その会場に、「RFS」として地域のみなさまからご意見を頂くためのコミュニケーションブースを出店予定!!

お子さまが楽しんでいただけるようなアミューズメントもご用意しますので、是非ご来場ください。

